

樹脂ブロック 内部亀裂防止



PLAMO、射出成形新技術

PLAMO（プラクラックの原因となるモ、埼玉真本庄市、茂 樹脂内部の繊維状添加木淳志社長）は、内部材料を不規則に分散させるクラック（亀裂）を防止する射出圧縮成形技術を開発した。切削加工して長は「内部の欠陥を防止するためのブロックで、

発は国内外で初めて」としており、今後、幅広い用途で採用を働きかけていく。

樹脂ブロックは、長さ1ミリの程度のカラス繊維やカーボン繊維の添加材料を中に混ぜて強度を高める。射

▲開発した「IMPブロック」は、ランダム配向成形による樹脂ブロック

流入口改良、繊維を均質化

ンダム配向のため切削時の変形も抑えられるほか、ブロックの厚肉化も可能になった。3次元（3D）プリンタ方向にそろってしまつて、クラック発生との要因になっていた。

PLAMOが新たに開発した「IMPブロック・ランダム配向成形」は、射出成形機を1年に創業したプラス

改良。溶融樹脂を金型に注入するゲート（流入口）が動く機構にすることで繊維の向きを崩して均質化し、クラックを防ぐことに成功した。

ポリフェニレンサルファイド（PPS）やポリブチレンテレフタレート（PBT）、芳香族ポリアミド（PA）など従来の成形法では難しかった樹脂材にも対応した。繊維の向きがバラバラなラ

素材・建設・環境・工